



前橋市の多文化共生 外国人施策と国際交流

現在約4,000人の外国人が前橋で暮らしていることを、ご存知でしょうか。日本人でも日常生活の中で、不便に思うことや、どこに相談したらよいか悩むことがあります。異なった言語、文化、習慣の中で暮らす外国人にとって、前橋での暮らしはどのようなものなのかを考えてみることは、日本人の私たちにとっても、地域社会を見直すきっかけになると思います。前橋で暮らす外国人の生活をサポートする市国際交流員と前橋市国際交流協会を取材しました。

問い合わせは
文化国際課
☎027-898-6516



市役所2階で外国人相談窓口

幅広い活躍をする国際交流員

文化国際課で国際交流員として勤務する、イタリア人のアメデオさんに話を聞きました。現在、前橋市の国際交流員は1人。アメデオさんは、イタリア・英語圏の外国人の通訳・翻訳を主な業務に、市民と外国人の交流を図るための交流イベントの企画・運営をサポートしています。

昨年、前橋まつりでは、外国人と日本語教室の講師を中心に30人ほどのチームで、だんべえ踊りに参加し、揃いのハッピーで大いに前橋まつりを楽しんだそうです。

また、自ら講師を務めた出前講座・国際料理教室では、小学生とその保護者に、出身地トスカナ地方の料理を、イタリア文化の話も交えながら紹介。幅広い活躍を



市民編集委員 船津さん 国際交流員 アメデオさん 市民編集委員 周東さん

私たちが
取材しました

ます。「国際交流の活動をすすめる上で大変なことは」と質問すると、「日本人はなかなか自分の考えを表に出さない。企画をどう実行に移すかといった面で時間がかかることも」と。しかし、前橋の印象を、「自然が豊かで治安もよく、とても住みやすいまちです」と笑顔で話してくれ、ほっとしました。積極的に国際交流員として働く姿勢と滑らかな日本語



揃いのハッピーでだんべえ踊り



前橋市国際交流協会での取材



語に頭が下がりました。生活を支える

前橋市国際交流協会は、市庁舎から東へ徒歩数分。市職員研修会館1階にあります。ここでは、市からの委託事業として、市役所2階に外国人相談窓口を設け、学校・保育所、在留資格、税金、国民健康保険、医療、年金、住宅

外国人も地域に住む仲間です
身近な人が外国で暮らすことも珍しくない時代になりました。「日本人も、外国で困ったことがあれば、現地の人の助けが必要に。どこに相談して良いのか分からずに孤立している人がいないかが心配です」という国際交流協会の担当者の言葉。「孤立した外

といったさまざまな行政面で相談を受けているほか、日本語教室や在外国人への情報提供も行っています。また、日本語発表会（毎年11月）や国際交流パーティー（毎年12月）を主催し、広報や交流の輪を広げる活動も行っています。日本語教室では、語学勉強だけでなく日常生活上の相談を受けることも多いそうです。学校や保育所からの「お便り」の翻訳が多いという話を聞いて、「身近な生活の手助けを最も心掛けていよう」という担当者の言葉どおりであると感じました。「人と人、心と心の交流」は万国共通なので



編集後記
現在の社会では、相互扶助の精神が求められています。それぞれが国際交流を積極的に行っていくことが、世界平和の一助になるかもしれません。取材を通して、国際交流の輪に目を向けていきたいと気持ちを新たにしました。

今、市文化国際課では、「震災など緊急時の外国人支援施策」を課題としています。それには私たち一人一人が、まず身近に暮らす外国人を、「地域の仲間」として認識し、日本人と分け隔てない交流を図ることが大切だと思います。アメデオさんは、さらに子どもたちとの交流の機会を増やし、自分も外国へ行きたいと考えている子どもたちの力になりたいそうです。そんな前橋市民アメデオさんにエールを送ります。みなさんも「国際交流パーティーへの参加」から国際交流の第一歩を踏み出しましょう。